

■自立支援協議会等

1月18日 療育支援部会 重心WG

地域生活支援拠点の整備に向けて、信濃医療福祉センターの医師を交えて地域資源の整理や医療との連携について検討を行いました。

医療的ケアのある方のタイムケアの単価について検討を行い、運営委員会へ検討をお願いしました。

2月7日 療育支援部会

今年度の反省、来年度へ向けて意見交換を行ないました。

2月8日 就労支援部会

今年度の報告、来年度の日程について検討しました。

2月8日 権利擁護部会

圏域の成年後見支援センター化の動向について情報交換、今年度の活動の振り返りと来年度の活動について検討し、29年度は事例検討を中心に取り組んでいくこととなりました。

2月9日 就労継続支援 A 型事業所の利用にかかる手続きについての検討会

就労・相談支援部会合同で検討会を開催しました。

2月16日 相談支援部会

計画相談様式検討ワーキンググループより、モニタリングの新様式について提案。地域生活支援拠点の台帳整備について、またその書式について検討を行いました。

2月24日 地域支援部会

今年度の振り返りと来年度に向けての検討と、余暇 WG のアンケート集計結果についての考察を行いました。

■研修会・研究会・イベント情報（詳しい内容は、各団体またはオアシスまで）

※ オアシスよりお願い ※

3月に入り、29年度の計画を既に立てられていらっしゃる事業所もおありかと思えます。概ね日程・内容が決定されている研修会・イベント等がございましたら、オアシスまでご一報いただけましたら、ホームページ上で圏域のイベントとして年間カレンダー形式でアップしたいと思っておりますので、是非情報をお寄せ下さい！

♣ SAKURA 岡谷センター オープンDAY&LQS体験

LQSとは、仕事習慣力を知ることが出来るオリジナルソフトです。7つの視点で働く力を分析します。就職活動や就労を継続するために役立ちます。

3月9日(木)、10日(金)、14日(火)～17日(金)

10:30～12:00、13:00～14:30

場所：SAKURA 岡谷センター

参加費：無料

予約・問合せ：事前に SAKURA 岡谷センター (tel:21-1380、
fax:21-1381)まで。



♣ 浜昌平 絵画展「僕のお気に入りたち」

ダウン症をもつ画家・浜昌平さんの絵画展が、3/14まで開催されています。2003年～2016年に描いた50点あまりを展示。線の動きと繊細な色の変化で捉えられた作品です。

開催中 ～3月14日(火)まで

場所：絵本美術館 森のおうち(安曇野市穂高有明 2215-9)

開館時間：9:30～17:00(2月中は16:30閉館)

料金：大人800円、小・中学生500円、3歳以上250円



♣ ガレージとーく『うつ病で、語る、つながるミーティング』

うつ病当事者や家族のピアサポートの場です。周りの人にはなかなか理解してもらえない「生きづらさ」や「心のモヤモヤ」と当事者同士で分かち合い、繋がりや癒しを感じてみませんか？

3月19日(日) 14:00～16:45

会場：塩尻市市民交流センターえんぱーく 2F 203 会議室

対象：うつ病の方、うつ病かもしれない方

定員：8名(先着順) 参加費：500円(会場費・運営費として)

申込み：NPO うつりカバリーエンジン(長谷川 tel:090-4823-7494)

♣ おたまじゃくしの会 ～ ゆっくり ゆったり 楽しもう ～

自分自身の障がいについて学び、仲間とともに暮らしやすい地域づくりを目指します。

【3月定例会】 WRAP 勉強会、来年度計画

3月25日(土) 13:30～

場所：いきいき元気館 会議室

会費：おおよそ100円くらい

問合せ：オアシスへ電話(54-7713)かメールで。

♣ 高森信子先生による精神保健福祉講座 パート4

真の「共感」「理解」とは？それに基づいた「対話」がいかに大切かを、「SST」を含めながら語っていただきます。当事者の回復には「服薬」と家族や支援者の「対話を通じた関わり」による「人薬(ひとぐすり)」がとても大切です。

3月26日(日) 10:00~16:00 (16:00~17:00 お困りごと相談)

会場：豊科交流学習センターきぼう 2階多目的交流ホール(安曇野市)

講師：高森信子先生

教職・アートセラピスト、東京大学 SST リーダー養成研修を経て、

1989年より地域作業所、デイケア、各地の家族会などの SST リーダーとして活躍

対象：10:00~12:00 当事者講座…当事者

13:00~16:00 家族・支援者講座…当事者ご家族、支援者

参加費：不要 申込み：不要

主催・問合せ：三郷にに八 (tel090-9664-7361 水谷)

♣ Light It Up Blue ちの 2017

4月2日「世界自閉症啓発デー」に世界中のランドマークがブルーにライトアップされる「Light It Up Blue」。茅野市民館が今年も青い光に包まれます。様々な関連企画もあります。どうぞお楽しみに。

3月19日(日)~4月16日(日) 9:00~22:00

場所：茅野市民館スロープ

参加無料

◎啓発パネル展示、「ザワメキアート展 2016」報告他

4月2日(日)

◎アートワークショップ 13:00~15:00 茅野市民館内

◎点灯式・ライトアップ 18:00~22:00 全館

いろいろな個性を持った人が「まぜこぜ」に存在している居心地のいい社会。

自分らしく生きていきたい。ありのままつながるきっかけ。誰かのため、自分のために手をつなぐ。いろいろな“違い”にふれあい、しりあい、みとめあい。それぞれの個性・特性を感じながら過ごす時間は、「ハンディ」を「アドバンテージ」に変えていく。そこに居あわせた人が浅く、広く、ゆるく、つながっていく。

Warm Blue~あたたかな青~につつまれた市民館で“青のあたたかさ”を一緒に感じてみませんか。

主催：LIUB ちの実行委員会、茅野市民館指定管理者(株)地域文化創造



■リレーずいそう 第45回

『善光寺まいり』

【支援センターオアシス 茅野進さん】

2月中旬、行ってきました善光寺まいり。当日はあいにくの雨で、傘を握る手も凍えましたが、これがまた珍道中でした。私は、にわかガイド役に。

長野県で小学校時代を過ごした人は、4年生で県庁と共に「善光寺」も見学した方が多いでしょう。どういうわけか社会見学なのにあそこだけはお土産を買う学習？ 赤い缶入りの七味唐辛子(八幡屋磯五郎)は定番。昼食の定番は、城山公園の木陰。けれども最近では、宿坊で一切音を立てずおしゃべりもせず、無言で他の命を頂く自分を味わう学校も増えているようです。

そこは今回大人の旅行。長野でなんと河豚、こちらが主かも。

一行のおめあては河豚刺し、なんと一人一皿。箸でぐぐ~っと挟んで一口でいっちゃって！ こ



のほか、てっちり、かき揚げ、白子、…。ああ、ごめんなさい、堪能してきました。これに、ひれ酒も付いてきましたが、昼から酒の飲める者はわずか。その者たちへカップが集中。

かなり思い切った贅沢でしたが、こうしてわいわいする中で、じんわり湧き上がってくるなにかを感じる一日でした。これが善光寺まわりの“御利益”でしょうか。（おわり）

☆ せっかく調べたので ついに 蛇足を・・・ ☆

① 仁王門・・・向かって左が「あ」、右が「ん」の顔。通常とは逆で、左に「阿形像」右に「吽形像」。高村光雲と米原雲海の作で 1918 年(大7)再建。7m×13m×13.6m(高さ)。一行が食いついたのは、高い所の白いお札、どうやって貼るの?→竿の先に付けて貼る。草鞋(わらじ)の奉納を見て、どこで売ってるの?→売り場があるかは、知りません。

② 山門・・・1750年(寛延3年)に建立された重要文化財指定の門。中央に「善光寺」と描かれた額、通称「鳩字の額」が。鳩はいくつ?...2つ!、3つ!...答えは5羽。もうひとつ、牛も居ませんか?...「善」の文字が牛の顔に見えてくる一行でした。



③ 善光寺(1)・・・いつ建てられたでしょう?...500年前、1000年前、1500年前、・・・。



1400年ほど前です。度々(おそらく10回以上)火事などの災害でそのたび再建されてきました。現存は1707年(江戸中期)の建立で、国宝に指定。木造建築としては大きさでも有名です(出雲大社、東大寺、善光寺)。一行の中からは、「へ～、国宝なんだ」

④ 善光寺(2)・・・なぜ「善光寺」という名前になったのでしょうか?...善光寺ご本尊(絶対秘仏:誰も見たことが無い・日本最古の仏像)を拾い上げ、ふるさと信州に持ち帰って大事にまつた人物、本田善光(よしみつ)に由来します。一行の反応は、「・・・」

⑤ 善光寺(3)・・・誰が建てたのでしょうか(実際に造った人ではありません、建てさせた権力者のことですよ)?...時の天皇である皇極帝です。当時の日本は、聖徳太子(これからの子は「厩戸皇子」と習います)の頃。しかし、伝来した仏教(尊像:一光三尊阿弥陀如来)を信奉すべきか評議されました。蘇我氏は信受(○)、物部氏と中臣氏は排斥(×)の立場に分かれました。曾我稲目が尊像を預かり自宅に安置し、さらには自宅を改造して向原寺としました。これに対する物部尾輿(おこし)(×)派は、国内の熱病流行の原因を蘇我氏が外来の蕃神(如来像)を信奉するためだとして、安置先の向原寺を焼き討ち。しかし尊像だけは無傷、尾輿が、今度は炉に投じて鍛冶職に壊させようとしても壊れず、万策尽きて難波の堀江に投げ捨てました。一方信受(○)派の曾我稲目とその子曾我馬子は熱く仏法を信仰し、仏教排斥派の物部尾輿とその子物部守屋を攻め滅ぼし、聖徳太子と共に仏教を奨励しました。聖徳太子が難波の堀江へ如来様をお迎えにあがると、「我を連れて行くべき者が来るのを待つ」と告げられました。その者こそ、本田善光でした。国司にに伴って都に参った折り、たまたま難波の堀江にさしかかったとき、「善光が過去世にインドでは月蓋(がっかい)長者、百済では聖明(せいめい)王として如来様にお仕えしていた」ことを告げられました。善光は歓喜礼拝、如来様を背負って信濃の我が家に帰りました。臼の上に安置し崇めているのを知った時の天皇である皇極帝が、伽藍造営の勅許を下す(善光寺の建立を命じ)ました。まあ、こんな長い説明は、一行には省略。

⑥ 善光寺本堂・・・実は一年前にも、お参りしました。一行の多くは当時のことを知っているのに驚きませんでした。中央ではないのです。向かって左側(西側)に寄ってお参りす

る人は、通の人のようです。一行より、「じゃあ、真ん中は誰？」…現場では宿題としましたが、「御三卿」と言われ、中央に本田善光、右側に奥様の弥生御前、左側に息子の善佐卿の三体の像が神像としてまつられています。中央でお参りする人は、善光寺を開山した善光卿へ、左（西）によってお参りする人は、如来様へお参りしているわけです。外観も間口に比して奥行きが深いこと、間口 24m、奥行き 54m、高さ 26m。T字型の棟の形から撞木(しゅもく：鐘を叩く棒)造りと呼ばれます。屋根は緋檜皮(ひわだ)葺きです。

- ⑦ 歴代回向柱納所…本堂西側、大勧進の裏側に納所があります。昨年5月(ドローン墜落事件で話題となった年)の回向柱を含め、歴代の回向柱が代々2mほど背を低くしつつ行儀良く順番に並べて安置されています。一行の声は、「知らなかった、へ〜」
- ⑧ 六地藏…帰り道、冷雨に打たれつつでしたが、「一体だけ違っていますよ」と声を掛けると、興味を示してくれました。一番右の足が台座から片方垂れ下がっています。この6体は、向かって左(本堂側)から、天・人・修羅・畜生・餓鬼・地獄の6つの世界で衆生(迷いの状態にある生き物)を救ってくれる菩薩様。一行からは、「私を救って〜!」
- ⑨ 大勧進(池の亀)…「勧進」とは、人々に仏法を説き作善を成すよう勧誘策進することです。開山、本田善光公以来代々善光寺如来様にお奉えしています。一行より、「何で亀が居るの?」→鶴は千年亀は万年、縁起がいいからでしょうか?
- ⑩ 山門から見る本堂…一通りの参拝と見学をして磁路につく前に、山門を額縁にして善光寺の本堂を拝観する提案をしました。建立当時の日本人は今よりも身長が低く、現代人が体験するときはやや膝をかがめます。山門の中央から本堂を拝観すると、山門の柱が額縁となり左右と天の空間バランスがとれた一服の額になるように造られているようです。さらに、石段の下から山門を通して本堂を見上げれば、善光寺が極楽浄土を思わせるように、山門の石段の上に乗っかって見えるようです。一行は、「へ〜」でしたが…。

(次は、自立支援協議会会長原田正男さんをお願いします)

■お知らせ

- ♣ **3月のパン販売予定** (諏訪市総合福祉センター1階 就労継続支援A型事業所『BAITEN』)
 - はっぴーおじさん : 3日(金)、10日(金)、17日(金)、24日(金)、31日(金)
 - こころ屋 : 6日(月)、13日(月)、27日(月)
 - いちやまマート : 1日(水)、7日(火)、8日(水)、14日(火)、15日(水)、
21日(火)、22日(水)、28日(火)、29日(水)
 - パンDEチーノ : 2日(木)、9日(木)、16日(木)、23日(木)、30日(木)

■オアシス情報

♣ 平成29年度オアシス水泳教室のご案内

オアシスでは身体と知的の障がいをお持ちの方対象に水泳教室を行っています。障がい者スポーツの支援をしている「さんすぽーと松本」から講師を迎え、ボランティアのサポーターさんと一緒に対応させていただいています。ご興味のある方いらっしゃれば、利用先の事業所までお問い合わせください。事業所の皆様にはオアシスまでご連絡下さいますようお願い申し上げます。

【募集期間】 ~3月31日(金)

対象者：諏訪地域にお住まいの方で、家族などのサポートだけではプールに入ることが

できない方。

日 時：(概ね) 身体：第2火曜日 知的：第4火曜日 10:00~12:00

回数	身体障がい者水泳教室	知的障がい者水泳教室
第1回	5月9日(火)	5月23日(火)
第2回	6月13日(火)	6月27日(火)
第3回	7月11日(火)	7月18日(火)※
第4回	8月22日(火)※	8月29日(火)※
第5回	9月5日(火)※	9月12日(火)※
第6回	10月3日(火)※	10月24日(火)

※印は第2・第4以外の火曜日に日程変更

申込み・問合せ：障がい者総合支援センターオアシス

(tel54-7713 担当：渋谷・武井)まで。

■3月の日程(自立支援協議会、オアシス)

3月10日(金)テルマエ会

13日(月)デイケア

14日(火)就労部会、サロンdeてくてく、親の会(オアシス)

15日(水)オアシス全体会

17日(金)ケアマネ連絡会

20日(月)(元気館休館日)

21日(火)サロンdeてくてく

27日(月)デイケア

28日(火)サロンdeてくてく

■オアシスたいむ 41 『荒波にさらわれそうだった水族館』

山形県鶴岡市に加茂水族館があります。ここには「クラゲドリームシアター」という直径5メートル、水量40トンの大水槽があり、何と2万匹のクラゲがゆったりと泳いでいます。幻想的な光景が話題を呼び、必ずしもアクセスが良いとは言えない立地ですが、かなりの集客を誇ります。

現在は観光の目玉になるほどの人気ですが、今から20年前には、近県に水族館がオープンした影響などから入場者が激減、閉館の危機に直面し「荒波にさらわれそうな」水族館だったそうです。

しかし、当時の村上龍男館長が1999年(平成11年)頃から本格的にクラゲの展示を始め

たところ好評となり、クラゲアイス（クラゲのぷつ切りが入っているアイスらしい）などユニークな企画も功を奏し、入館者数も増加に転じました。2005年（平成17年）には念願のクラゲ展示数世界一となりました。

実はクラゲは飼育も展示も難しいのだそうです。館長の「クラゲでいく！」とのヒラメキと、ノウハウも設備もない中、クラゲの展示で日本一、世界一を目指した職員の熱意と努力により、2014年（平成26年）6月に建て替えリニューアルを果たしました。

グーグルマップによると、オアシスからの所要時間は車で5時間29分。（因みに徒歩だと3日かかるらしい）気軽には言えない距離ですが、いつか行ってみたい水族館です。

鶴岡市立加茂水族館

〒997-1206 山形県鶴岡市今泉字大久保 657-1

TEL0235-33-3036 FAX0235-33-1129

